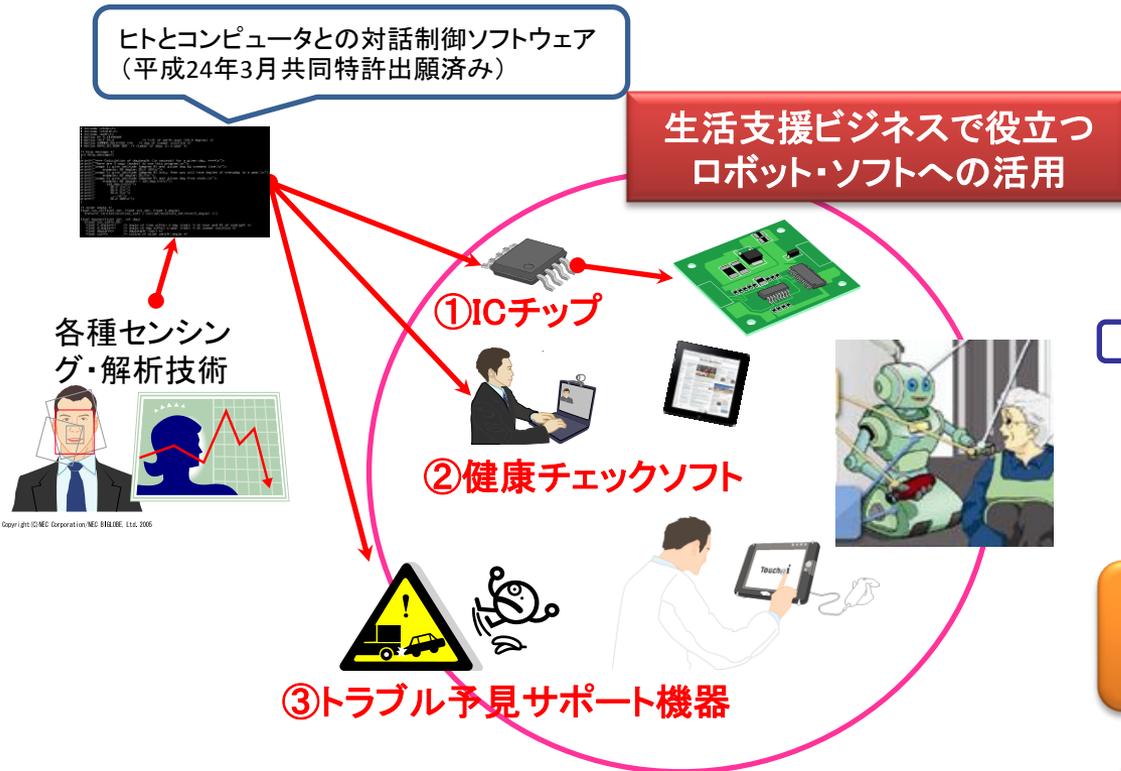


「感情医工学研究所」の開設とその狙い

- ・LASSIC、鳥取環境大学、鳥取医療センターの三者が連携し、気分の落ち込みや不安などの感情に関する問題を早期発見する機能を備えた、こころの健康増進や疾病予防に役立つ対話システムを開発する。
- ・鳥取環境大学内に公立大学法人後初のベンチャーラボ「感情医工学研究所」を開設し、そこでLASSICと鳥取環境大学で行ってきた「基礎研究成果」(平成24年3月共同特許出願済み)を基に、「健康管理」「見守り」「安全確保」など主に生活支援分野での実用化を図る。
- ・ヒトの感情を定量的に計測することができるシステムは、我が国の強みである「きめ細かいサービス」×「技術力」の相乗効果を向上させる。この取組により健康、介護、安全支援分野で新たなサービスや製品を開発し、国際社会の持続可能な発展に貢献する。

〈製品イメージと産官学医連携スキーム〉



成長市場

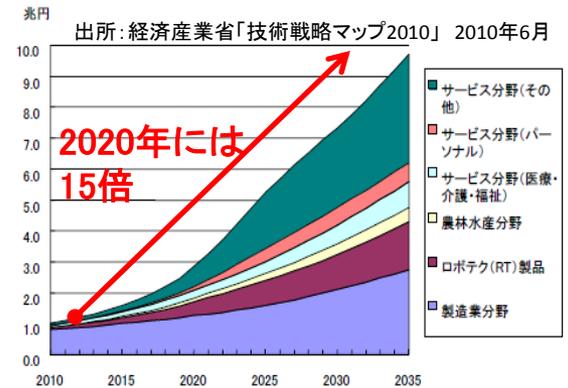
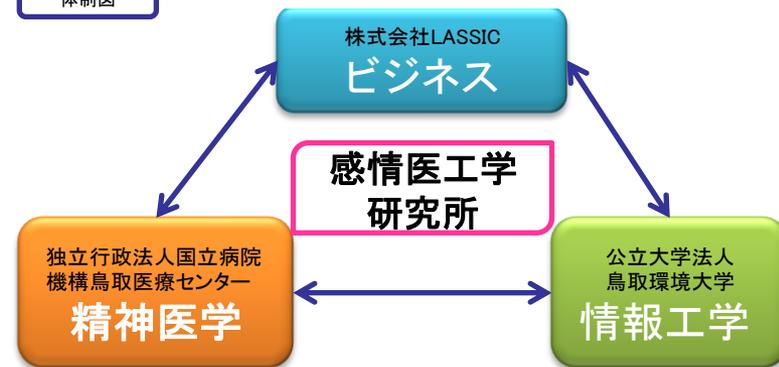


図7 ロボット産業の市場推移の予測

体制図



※鳥取市の「雇用創造のための先進的・モデル的事業」を活用し、製品開発に携わる技術者3名をLASSICで雇用した。